

～じぶんもみんなも地球も笑顔に～

海と緑の環境に調和した サステナブルな次世代都市として ベイエリアを次なるステージへ

Bay Area to the Next Stage Coexisted
with Nature As a Sustainable Next-Generation city

東京ベイeSG まちづくり戦略 2022について

～未来から選ばれる都市を創る～

About
Tokyo Bay eSG
Urban Development
Strategy 2022

都は、2021年4月に「臨海副都心」と「中央防波堤エリア」を舞台として50年・100年先の未来の都市像を描いた「東京ベイeSGプロジェクト」(Version1.0)を公表した。

今般策定した「東京ベイeSGまちづくり戦略2022」は、「ベイエリア全域」を対象エリアとしており、eSGプロジェクトの具現化を下支えし、未来の都市像からバックキャストした2040年代のベイエリアを実現するための実行戦略である。

東京2020大会が成功に終わり、新たなステージへと移る東京の都市づくりについて、ポストコロナを見据え、グリーンとデジタルを基軸として、「都市づくりのグランドデザイン」を踏まえ、サステナブル・リカバリーの考え方に立脚した次世代の都市づくりを進めていくための行政の取組や民間誘導の方策を示している。

※eSGとは、本来の「eSG」(環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の概念に加え、eには、生態学などのエコロジー、経済のエコノミー、画期的・革新的のエポックメイキングの意味を込め、さらにはSとGには、東京の礎を築いてきた偉大な先人である渋沢栄一や後藤新平のイニシャルの意味を加えて、その精神を受け継ぐ想いも込められている。

戦略・取組の記載の特徴

【特徴1】 主要施策

有識者の意見、提案など、50年・100年先を見据た2040年代のベイエリアのあるべき姿、今後の20年～30年間で取り組むべき都市づくりの方向性を反映している主要な取組を記載。

【特徴2】

こどもの目線に立ったまちづくりの観点から、ベイエリア内の小中高生を対象に実施したWEBアンケート結果より、関心の高かったベイエリアへの希望や大切にしたいことについて、メダルの数で表現し、その実現に向けた取組が分かるように記載。

【特徴3】 A B C

まちづくりの実行戦略として、各取組について実現を目指す時期を示す区分A～Cを明記(区分の詳細2章に記載)。

【特徴4】 T

東京2020大会の様々の成果を都市のレガシーへと発展させ、未来につなげていく取組を明示。

【特徴5】

ゼロエミッション東京戦略で掲げる6分野・14政策に関連するCO₂の排出削減、気候変動被害の回避・軽減を図る取組を明示。

ベイエリアが果たすべき 役割・使命について

主な社会背景

東京2020大会の成功

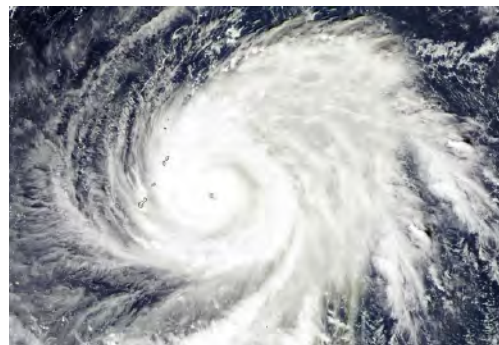
多くの困難を乗り越えて成功裏に終えた東京2020大会は、東京の都市としての成熟度を大きく高めるものとなった。

都は、大会を通じて生み出した様々な成果を都市のレガシーへと発展させていく新たなステージに立っている。



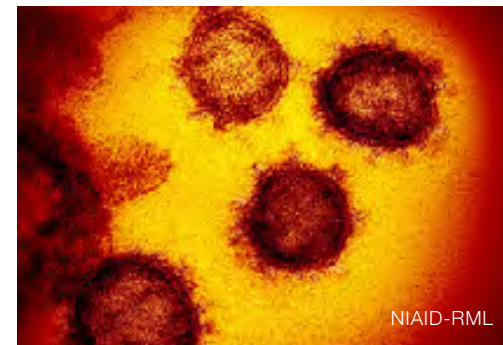
気候危機

IPCCは、2100年における世界の平均海面水位は地上平均気温が約2°C上昇の場合、最大で0.59m上昇すると予測している。気候変動の影響により頻発化・激甚化する風水害などから命を守る万全の危機管理は、都の最も基本的な責務であり、誰もが活躍するための大前提である。



新型コロナ危機

新型コロナ危機は、テレワークやデジタル化の進展など経済・社会への影響とともに、人々の生活等への意識にも変化をもたらした。都市の持つ集積のメリットは生かしつつも、個々の生活レベルでの三密を回避し、新しい日常にも対応するサステナブル・リカバリーの考え方に立脚した都市づくりを推進する必要がある。



NIAID-RML

バイエリアで東京の次なるステージの都市づくりをリードしていく

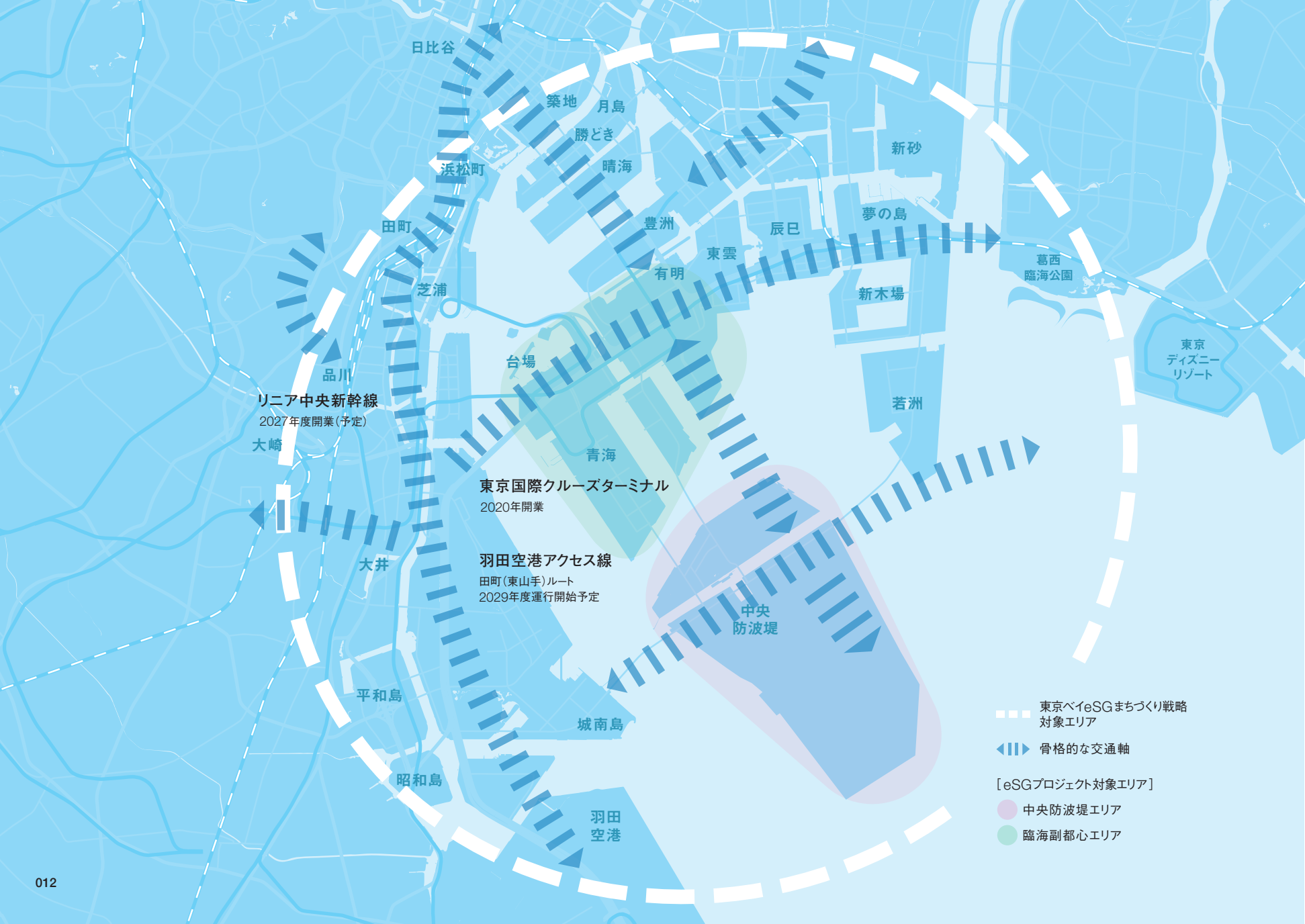
東京の役割

国家の競争力を決定づけるのは、世界から選ばれる都市の存在であり、それこそが首都・東京の役割

東京の使命

命を守る万全の危機管理を大前提として、多様な集積を源泉に、常にイノベーションを生み出す都市として成長を続け、国の発展を牽引することが東京の果たすべき使命

バイエリアは、気候危機に対応し、海と緑の環境に調和した持続可能な次世代都市として、世界から人と投資を呼び込み、成長と成熟が両立した持続可能な都市・東京を先導するエリアとして発展していく。



リニア中央新幹線
2027年度開業(予定)

東京国際クルーズターミナル
2020年開業

羽田空港アクセス線
田町(東山手)ルート
2029年度運行開始予定

- 東京ベイeSGまちづくり戦略対象エリア
- 骨格的な交通軸
- [eSGプロジェクト対象エリア]
- 中央防波堤エリア
- 臨海副都心エリア

対象エリアと将来像・ 取組の考え方

[ベイエリアの範囲]

- 概ね明治以降の東京の埋立地を基本とし、下記の道路より海側を対象エリアとする。
- 北側:放射16号(永代通り)
- 西側:首都高速都心環状線、放射19号(旧海岸通り及び第一京浜)、放射17号(産業道路)

[将来像と取組]

- 50年・100年先において未来の都市像を実現するための20年・30年先(2040年代)の将来像
- 2040年代の将来像を実現するために、現在から実施すべき必要な取組

